

## 令和6年度 交通信号診断士 実務試験解答

### 問1 (15点×3=45点)

#### 5. ① (5点×3=15点)

- ・関係書類(作業手順書・仕様書・取扱説明書)の確認と積み込み
- ・測定器・交通規制用及び作業用装備品の確認と積み込み
- ・点検ルート確認・作業車両に配置場所の確認・周知
- ・翌日の作業に関する監督員への連絡

#### ② (5点×3=15点)

- ・TBMによる作業員の経験・技量に合わせた役割分担の明確化
- ・KYによる本作業に潜む危険と対策の徹底
- ・作業員同士が指差呼称を徹底し、お互いに進捗確認を行う
- ・作業責任者は、通行人の安全、作業員の行動など全体を俯瞰する役割

#### ③ (5点×3=15点)

- ・校正検査済みか確認→測定値の信頼性向上
- ・測定器を事前に動作確認
- ・安全装備品は、安全管理チェックリストによる事前確認

### 問2-1 (11点×2=22点)

- ①車両感知器の電源断時は、感知「有」で出力する。
- ②複数の車両感知器は直列に接続しているので、信号制御機は車両の有無にかかわらず感知「有」として扱い、信号制御を行う。  
又は、  
定周期動作となる。  
も可。

### 問2-2 (11点×3=33点)

- ①異常閃光 (G-G検出・タイマ異常検出による)
- ②手動閃光 (閃光切替器を「入」とした場合)
- ③パターン閃光 (地点制御で動作切替時限表に設定した場合)